

会長の挨拶 30 例会出席—その 5—

ガイ・ガンディカーは言う「ロータリークラブは、いわば電流の通った電線のようなものであって、電線というものは、電気が通ったり通らなかつたりするようではさした役には立たないのである。常習欠席者罷免の原則は、企業上の決断の如く断乎として行わなければならない。出席率の高い会員こそロータリー・クラブの大きな財産なのであり、そして退職や転職以外の理由で会員の入会退会が常に行われていることは明らかに欠陥であって、これがクラブを実効性のあがないものにしてしまうのである」と。

ロータリーは一人一人の会員の心の光明が世を明るくすることを期待する。しかもその一人たるや選ばれた一人である。一人一人の光明の照明度の優秀さがその例会における切磋琢磨によって増大することが期待されていることがロータリー思想の柱石なのである。良質の徳は劣悪な徳に対して数十倍の社会的偉力を持つ。例会欠席が如何にロータリー運動の効率を阻害するかが明らかになる。

(小堀憲助著 『ロータリー思想の理論構造』より引用)